



白ばら

第45号 (令和3年9月)

[発行]

枚方市明るい選挙推進協議会
枚方市大垣内町2丁目1番20号
枚方市選挙管理委員会事務局内
電話 (072) 841-1532
FAX (072) 844-3479

[編集]

機関紙白ばら発行委員会

枚方市明るい選挙推進協議会機関紙

予 告

第47回白バラ講座

『ポストコロナ、誰も取り残さない社会への希望』

今年度の白バラ講座は、枚方市保健所長の白井千香（しらいちか）さんにご講演いただきます。

白井さんは1986年筑波大学医学専門学群（医学部）卒業後、東京都衛生局を経て神戸市衛生局に入局し、各々保健所等に勤務され、2009年の新型コロナウイルス発生時には、国内初の集団感染に対応されました。その後、2010年に大阪大学大学院医学系研究科を修了し公衆衛生学修士を取得さ

れ2019年枚方市に入職、保健所の所長となり、現在では全国保健所長会副会長としてもご活躍されています。

「ポストコロナ」（コロナ禍の経験後）の社会では、未知のウイルスを含む様々な疾病



枚方市保健所長
全国保健所長会副会長

講師

しらいちかさん
白井千香さん

12月3日（金）
午後2時00分～
入場無料 先着410名※
枚方市総合文化芸術センター
（関西医大 大ホール）

に備えることが、ゆとりある未来につながります。これからの社会は、日常生活や価値観が大きく変化し新しい生活様式への転換が不可欠です。誰もが取り残されず健康で安心して暮らせる地域づくりについて、一緒に考えましょう。

ご挨拶

枚方市明るい選挙推進協議会
会長 荻井 絹代

皆様には、枚方市明るい選挙推進協議会の活動に対しご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、総会をはじめ各種の

会議、機関紙の発行などが中止になってしまいました。しかし今年度の総会は、会場開催を中止し書面で開催し、会議は感染症対策をして開催しています。

去年から続くコロナ禍による社会の変化は、家庭や職場・学校などであるいろいろなことを考えるきっかけになった様に思います。

私たちの活動のひとつであります選挙啓発は、効果が見えづらいですが一人でも多くの方に、政治をよくするためには投票することが大事だからと思っただけの様に、これからもきれいな選挙の推進を推し進めて参りますので皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

※申込について <11月1日(水)申込受付開始>

以下の申込方法①、もしくは②でお申し込みください。

【申込方法①】電話、FAX、メールのいずれかで下記までお申し込みください。FAX、メールの場合は氏名、住所、連絡先（電話番号/メールアドレス）をご記入ください。

【申込方法②】右記 QR コードを読み込んで、リンク先の申込フォームに入力してください。



申込先 TEL:072-841-1532 FAX:072-844-3479
(選挙管理委員会事務局) メール:senkyo@city.hirakata.osaka.jp

白ばらの由来

なぜ「白ばら」が明るい選挙のシンボル・マークなのでしょう？
「白ばら」は、大正後半の普通選挙獲得運動や、昭和12年の東京市政浄化運動達成のシンボル・マークとして使われてきました。このような選挙にちなむ先人の祈りを受け継いで、「白ばら」に明るい選挙の願いを表したものです。

令和3年度

総会書面開催

枚方市明るい選挙推進協議会では、年一回総会を開催しています。総会では、本協議会の発展に多年にわたり尽力いただいた方に対して感謝状を贈呈する他、各種事業の実施報告や新年度の事業計画の議案審議などを行っています。

新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度は総会を中止しましたが、令和3年度は書面による開催とし、本協議会の役員、幹事、常任委員等に表決書を送付しました。書面表決の結果は次のとおりで、すべての議案について、過半数の賛成をもって可決されました。

【書面表決の結果】

議案第一号

令和2年度事業実施報告について

議案第二号

令和3年度事業計画について
ともに、賛 109人・否 0人

在会10年

感謝状贈呈者

令和2年度

枚方校区	上田昇
枚方校区	有山良子
伊加賀校区	山本武
春日校区	勝手正美
香陽校区	岡村博子
香陽校区	島村紘二
川越校区	三上博敏
香里校区	平野辰子
山之上校区	田丸孝
桜丘北校区	寺島久雄
桜丘北校区	筏井由美
田口山校区	松葉光子
高陵校区	岡本信江
磯島校区	平田千代子
磯島校区	中川由紀子
殿一校区	田中廣枝
殿一校区	尾崎弘明
樟葉北校区	神田秀邦
菅原東校区	山根明美
長尾校区	山口伊津子
長尾校区	大西マズエ
津田南校区	佐々木由子
菅原校区	奥野眞理子
サダ校区	岡本都
サダ校区	松野恭子
殿一校区	樋口武
菅原校区	杉原美智子

令和3年度

令和2年度



在会10年感謝状を頂いて
〔山之上校区〕田丸孝

この度お手伝い10年の節目で、27名の方々とご一緒に感謝状を頂きましたが、国民の意思によって政治のあり方が決まる民主主義。選挙はその機会。日頃から政治と選挙に目を向け、政策などを見る目を養い、こぞって投票を行うことを念じられつつ「私たち一人ひとりが、自分の考えで正しく投票する明るい選挙」を実行して下さっておられる地域の有権者の皆様に感謝を申し上げたい気持ちです。最近増えた期日前投票所の投票立会人の経験からも、一生懸命投票なさっておられる皆様のお姿に心を打たれ、一方では、国政なのに権力に溺れたような買収選挙が、一部とはいえ存在する驚きの現実もあり、さらに「明るい選挙」の前進に心を新たにいたしております。

令和3年度



在会10年感謝状を頂いて
〔菅原校区〕杉原美智子

先を考えれば長く、過ぎれば早い10年。明るい選挙の推進委員、常任委員を受け、年に一度の協議会の総会、講演、選挙時の投票管理者も経験しました。毎年校区推進委員会で投票率の減少が議論になりますが、選挙権が18才に引き下げられ、期待しましたが、残念な結果に。もつと若い人の考えに耳を傾けたい。コロナ禍の毎日、外出もままならず新聞、テレビで目に入るのは議員の汚職、買収と心が痛むニュースばかり。近年はスマホでメール、動画で相手の顔を見ながらお喋りと、便利な世の中になりました。オリンピックク、コロナ収束を願い、次の衆議院議員総選挙に備えたい。これから皆様と協力し、明るい選挙に従事し、より良い社会を目指して頑張っていきたいです。沢山の行事、活動に楽しく参加できました。ありがとうございます。

選考委員長を引き受けて

〔樟葉西校区〕虎谷 義明

令和2年1月の常任委員会において、選考委員として5名が選出され、二度にわたる選考委員会を開催いたしました。常任委員会で承認された役員基準は、

- 一、現役員に留任する意向がある場合は、最大限に尊重すること
- 二、幹事または常任委員の経験を有する方であること
- 三、所属地域ができる限り特定の地域に偏らないこと

これらの基準を選考委員で共有した上で

- 〈留任〉 菊井会長
中村副会長
三上副会長
- 〈推薦〉 大西幹事
堀常任委員

を役員候補として推薦し、令和2年4月の役員会で選任されました。

幹事に就任して

【殿二校区】小川 新一

この度牧野ブロックの幹事を担当することになりました。まだまだ未熟な点が多々有ると思いますが地区の推進委員の皆様と協力し合い、明るい選挙の啓発と推進に努めてまいりたいと思いますので、よろしくお願ひします。

【菅原校区】吉田 君子

菅原ブロックの幹事を引き継いだ、吉田でございます。明るい選挙推進協議会に参加して早15年になります。在会10年感謝状も頂きました。振り返ってみますと、投票所で投票管理者を努めるなど、常任委員会の会議に出席していく中で非常に貴重な経験をさせて頂きました。今後とも協議会の活動に精一杯務めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。



【氷室校区】今井 晴子

津田ブロックでは、幹事の就任は2年毎に基本、校区順番制になっていますが健康上や家庭の都合もありますのでその都度皆さんと話しあつて決めています。

令和3年度の事業分担として私は「機関紙白ばら」と「白バラ講座」担当の一員となりました。ブロックでは、6月19日の開催準備を進めてまいりましたが校区推進委員会が中止になってしまいました。コロナ禍での事業開催は大変ですが皆さんと協力しながら明るい選挙推進に取り組んでいきたいと思ひます。

五十周年を迎えて

枚方市明るい選挙推進協議会は、昭和45年7月に民間団体として推進委員44名で発足しました。この会は、有権者一人ひとりの政治意識の高揚ときれいな選挙の推進という、大きな二つの目標を目指してさまざまな活動を展開しています。

機関紙白ばらの発行は、今年で第45号になり、白バラ講座は47回になります。平成7年12月には、参議院議員選挙の臨時啓発に對して自治大臣表彰を受けました。今では、地域の推進委員さん680名のお力添えで明るい選挙の推進を推し進めて昨年50周年を迎えました。

これからも、地道な活動を続けて参りますのでご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします。

選挙物品貸し出し

選挙管理委員会では、青少年啓発活動の一環として、生徒会等の校内選挙を行う際などに、実際の選挙で使用している「投票箱」や「記載台」などの選挙物品の貸し出しを行っておりますので、ぜひご利用頂きたいと思ひます。

ご希望の際には、選挙管理委員会事務局までお問い合わせください。



ポスターコンクール

都道府県選挙管理委員会等が主催する、令和2年度明るい選挙啓発ポスターコンクールに、枚方市では、小学校の部145点、中学校の部11点の応募がありました。

枚方市が選んだ優秀作品10点(小学校の部7点・中学生の部3点)の中から、枚方第二小学校の内倉凜乃さんが大阪府の二次審査に入賞されました。

枚方市の優秀作品は、12月末に市役所別館入口で展示しました。枚方市選挙管理委員会のホームページに作品ギャラリーを設けて紹介しています。



ご存知ですか？ 投票所でのルールとマナー



正しく公平な選挙を行うために投票所内で守って頂きたいルール等があります。大切な一票を、守り活かすため、有権者の皆様にはご理解とご協力をお願いします。

Q 投票に来たけれど、投票所入場整理券を忘れてきた！ 投票できるのかなあ？

A 大丈夫です！投票所入場整理券は、投票所で投票しようとする選挙人が、本人であるかどうかの確認を的確に、かつスムーズに行うために交付されるものです。そのため、仮に入場整理券を持参しなくても、選挙人名簿と対照の結果、本人であると確認できれば投票できます。

Q 候補者の名前を間違えて書いてしまった！ 消しゴムが見当たらないけど…？

A あわてなくても大丈夫！間違えて記入したものを鉛筆の二重線で消して、投票用紙記載欄の余白に書き直してください。消しゴムを使うと、投票用紙が汚れたり、消しきれない文字が残ったりして、無効票になる心配があるため、消しゴムは用意されていないのです。

Q 投票所っていつも静かだけど… 投票所内で話をするのはダメなの？

A 投票所内で、他の人の投票に干渉したり、特定の候補者への投票を呼び掛けたりすることは禁じられています。また、大騒ぎするなど、平穏な投票手続きの進行を妨げる行為を行うと、投票所から退出させられる場合もありますので、お気をつけください。

Q 自分のペンを使ってもいいの？

A 総務省は「候補者を特定できればどんな筆記用具を使っても構わない」としています。ただ、投票用紙の性質上、ペン類はインクが乾きにくいいため、鉛筆(シャープペン)を推奨しております。**★新型コロナウイルス感染予防のため、なるべくご自身の物をご持参ください。**

Q 投票用紙は持って出てもいいの？

A 公職選挙法では、投票用紙を「投票箱に入れなければならない」と規定されています。投票用紙を投票所から持ち出したり、持ち帰ることはできません。

編集後記

今年もコロナの影響で事業が遅れましたが、6月21日より「機関紙白ばら」発行委員会を立ち上げることとなりました。今回はコロナ感染症対策のため、役員、担当幹事、事務局のご協力を得て、少人数で「白ばら45号」の編集作業を進め発行に到りました。

秋には衆議院議員の総選挙が控えていますので、長引くコロナが一日も早く収束し、平穏な日々に戻ることを願っております。

今後とも、当協議会の活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。

機関紙白ばら発行委員会 発行委員長
長尾校区 大西マスエ

期日前投票所

枚方市の期日前投票所は平成31年から9箇所になりました。

市民会館・津田支所・北部支所・南部生涯学習市民センター・中央図書館・サプリ村野・総合体育館・ビオルネ・くずはモール
期日前投票期間中はいずれの投票所でも投票できます。

※会場の都合により、異なる場合があります。

